

ー平成 27 年度第 3 回埼玉県健康福祉セミナー開催の御案内ー

長寿社会における終末期医療 ～住み慣れた地域で住み続けるための自分で選ぶ医療の在り方～

団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年に向けて、年間死亡者数は 160 万人を超えると推計されています。在宅医療へのシフトが進められる中、終末期を自宅でどう迎えるか、人生最後まで、住み慣れた地域で、生活の質（QOL）を保ちながら満足感をもって過ごすために私たち一人一人が終末期医療について真剣に考えていくことが求められています。当セミナーでは、延命治療と緩和ケアの関係について、ヨーロッパ、アメリカ等での事例を紹介しながら、死生観・尊厳死といった倫理面を含む本人・家族・医療介護従事者が直面する課題を考えるとともに、自分の意思をどう伝え、支援者をつないでいくのか、県内の取組事例を紹介します。保健医療福祉専門職として、また行政職として、健康長寿社会における終末期医療について認識を深める機会となっております。皆様の御参加をお待ちしております。



埼玉県のマスコット コバトン

日 時 平成 28 年 3 月 22 日（火） 13:30～16:20

場 所 さいたま共済会館 602 （定員 120 名）
（さいたま市浦和区岸町 7-5-14 JR 浦和駅西口徒歩 10 分）

http://www.saitama-ctv-kyosai.net/kyosai_kaikan/index.html

対 象 県保健医療部・福祉部・病院局職員、市町村の保健・福祉分野（地域包括センター等）の職員、地域の医療・介護従事者等

主 催 埼玉県保健医療部（保健医療政策課）

ープログラムー

開 会		
13:30～13:40	ごあいさつ 埼玉県保健医療部 副部長 三田 一夫	
講 演		
『欧米に寝たきり老人はいない』を共著で出版、医師として高齢者の終末期医療への取組で活躍される宮本御夫妻をお招きし、終末期医療の現状とこれからについて御講演いただきます。		
13:40～15:20 (100 分)	1. 我が国の高齢者終末期医療の現状 一桜台明日佳病院認知症総合支援センター長 宮本 礼子 氏	世界一の長寿を誇る日本において終末期医療の現場で何が起きているのか。患者と家族、医療介護従事者が直面する課題について考えます。
	2. 欧米豪にみる高齢者終末期医療 一北海道中央労災病院長・北海道大学名誉教授 宮本 顕二 氏	諸外国の終末期医療現場での緩和医療の在り方、患者本人の意思の尊重など、日本の現状と比較し、これからの医療の在り方について考える。
15:20～15:30	10分休憩	
事例報告		
在宅療養生活となったとき、どのような生き方を選ぶのか、家族や支援者にどう意思を伝えていくのか、ちちぶ医療協議会の取組について御報告いただきます。		
15:30～16:20 (50 分)	『私の療養手帳』の活用による 在宅療養生活の質の向上 一「私の療養手帳」委員会・ちちぶ医療協議会・秩父郡市医師会一	ちちぶ圏域で活用している『私の療養手帳』には、口腔ケアや食事バランス、じぶん史、緩和ケアの希望まで書き込める内容となっている。活用の方向性などについて、事例を通して御報告いただく。

● 講 師 紹 介 ●

■宮本 顕二 氏

北海道出身。独立行政法人労働者健康福祉機構 北海道中央労災病院院長。北海道大学名誉教授。日本呼吸ケア・リハビリテーション学会理事長。内科医師。日本呼吸器学会専門医。2012年から「高齢者の終末期医療を考える会」を札幌で立ち上げ、事務局として活動している。



■宮本 礼子 氏

東京都出身。医療法人社団明日佳 桜台明日佳病院 認知症総合支援センター長。内科医師。2006年から物忘れ外来を開設し、認知症医療に従事。日本認知症学会専門医、日本老年精神医学会専門医。
上記「高齢者の終末期医療を考える会」代表として活動している



共著『欧米に寝たきり老人はいないー自分で決める人生最後の医療』
(中央公論新社2015)

■ちちぶ医療協議会

ちちぶ医療協議会は秩父地域における「ちちぶ定住自立圏共生ビジョン」の医療分野における組織。秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町の1市4町が「地域完結型医療の実現」を目指し、秩父都市医師会、秩父都市歯科医師会、秩父都市薬剤師会など医療関係団体の協力のもと、医師・医療スタッフの確保、救急体制の維持、予防医療やリハビリテーションの充実に取り組んでいる。

お申込み

平成28年3月11日（金）締切

※定員超過の場合は、御連絡させていただきます。

①電子申請システムによりお申込みください。

<https://www.e-tetsuzuki99.com/eap-jportal/Entrance.do?command=APPLY&lcd=110001&pkgId=hosei3>

*「利用者IDなしで申請」→「同意する」→「新規」→入力画面（氏名、所属等を入力）→「入力完了」→「確認完了」→「送信」と進んでください。

②埼玉県職員の方は下記職員ポータルアンケートシステムから御回答ください。

<http://smart/smart/eq.asp?U=0006009020109582559>

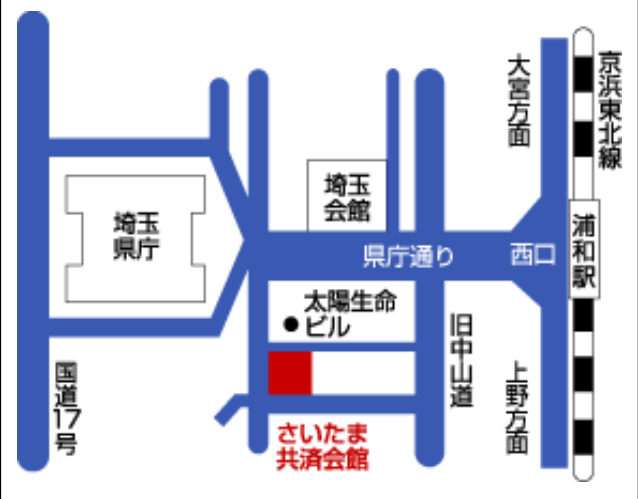
③案内添付の回答様式もお使いいただけます。

送付先：（FAX）048-830-4800

（E-Mail）a3510-11@pref.saitama.lg.jp

さいたま共済会館

JR浦和駅西口より徒歩約10分
(公共交通機関を御利用ください。)



お問い合わせ：埼玉県保健医療政策課 研修・国際協力・免許担当
(電 話) 048-830-3519

■ F A X 番号 0 4 8 - 8 3 0 - 4 8 0 0

平成 年 月 日

所属

(3月22日開催)

担当部署等	職名（役職）	職種	氏 名	氏名フリガナ
例）〇〇課	係長	保健師	埼玉 彩子	サイタマサイコ

御質問

(回答を希望する講師がいる場合：)

担当：

電話：

E-Mail :